

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教職実践演習 Teaching Practice Seminar		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(教職課程必修(中学校教諭二種英語))	英語フィールド、教員養成ユニット
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理、教育実習事前事後指導等の教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
中学校教諭二種免許に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
ジョン・ディリー、佐藤勇一、松崎勇人、堤 裕美子、(佐野日本大学中等教育学校：細井 健先生)	授業内で指示する	授業内で指示する		授業中に指示します
授業の概要				
ポートフォリオ(学習の履歴、実習記録、実習評価表等)に基づく反省点と考察の上に立って、特に①学習指導力(生徒のレディネス理解力、授業設計力等)、②性と指導力(生徒の理解力、学校・学級での生活指導力等)、③調整力(学校、家庭、地域社会、及びその他の関係諸機関との連携・協力調整)、④学級経営力(学級経営理解力、学級・学年・学校行事の経営力等)の4つの視点から教職実践力をとらえ、教職の理解とその実践力の習得を図る。				
授業の目標				
①教育に対する健全な使命感、責任感、教育的愛(生徒と共に学び、成長しようとする態度)を身につけることができるようにする。 ②教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができるようにする。 ③生徒の発達や心身の状況を把握し、すべての生徒たちが生きる力を育む学級経営を行うことができるようにする。 ④教育の目的・内容・方法についての基本的事項を再度確認し、生活・学習指導に応用することができるようにする。				
授業の方法				
授業の進め方は、主に演習形式で行う。講義、講演、模擬授業(役割演技を含む)実技指導、ディスカッション、事例研究等の方法を組み合わせながら取り入れ、教職実践力の習得を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①誠実、公平かつ責任感を持って生徒に接し、生徒から学び、共に成長しようとする意識を持って、自己の職責を自発的に、積極的に果たそうとする姿勢を身につけることができる。②挨拶や服装、言葉遣い他の教職員への対応、保護者に対する接し方など、社会人としての基本を身につけると共にお互いに連携・協力しながら、課題に対処できる。 ③生徒の特性や心身の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、それに基づく望ましい学級集団(学び合い支えあう共同体)を築こうとする態度を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明：教育実践演習の意義と目的 (ディリー、佐藤)			
第2回目	教育経営について：講演・ディスカッション・まとめ 学校経営、学級経営、学年・学校行事の経営の理解(松崎)			
第3回目	生徒の理解といじめや不登校生徒への対応、障害生徒の理解と援助技術、生徒指導上の課題と学校・家庭・地域、関係専門機関との連携：講演・役割演技・まとめ(堤)			
第4回目	改正教育法、学校教育法と学習指導要領：講義・ディスカッション・まとめ(松崎)			
第5回目	教職の意義と教員の使命・資質について、現代社会の教育諸問題と教職の課題：講演・ディスカッション・まとめ(細井先生)			
第6回目	カリキュラムの創造：英語教育の現状と指導計画の作成(長期短期)(佐藤)			

第7回目	英語学習の現状(細井先生)	
第8回目	英語4技能に焦点を置いた模擬授業：ロール・プレイング<英会話>・ディスカッション・まとめ(佐藤)	
第9回目	授業中における生徒の参加状況、反応を見る模擬授業：ロール・プレイング・まとめ(細井先生)	
第10回目	教材作成ワークショップⅠ：ディスカッション・発表・まとめ(ディリー)	
第11回目	教材作成ワークショップⅡ：ディスカッション・発表・まとめ(佐藤)	
第12回目	評価活動の展開 真性アセスメント評価、ポートフォリオ・アセスメントの理解と応用：講義・ディスカッション・レポート*レポート提出は、第12回の授業時(松崎)	
第13回目	教材を使用しての模擬授業：ロール・プレイング・ディスカッション・まとめ、教材の効果の考察(ディリー)	
第14回目	マルチメディアを用いた模擬授業：ロール・プレイング・ディスカッション・まとめ(ディリー)	
第15回目	まとめ、担当教員からの指導(授業の振り返りと考察、資質能力を確認し、教職実践力を分析(ディリー、佐藤))	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	20%	出された課題を準備して授業に望んでいる。ディスカッションの場面で自分の考えを述べる。
レポート	30%	詳細に課題を探求し、課題の要件を十分に満たしている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容(態度含む)	50%	適切かつ正確な資料を用いることによって理解の深さを示す。誰もが聞き取れるように、明瞭に大きな声で発表する。
その他		
教科書と参考図書		
なし。適宜自作プリントを配布する。		
履修上の留意点・ルール		
休まないこと。真剣な態度で講義に臨むこと。積極的に質問することを望む。		